

「たすか～るZ～緊急医療情報カプセル～」

を準備しましょう ～緊急時の備えに～

目的

独居の高齢者の方が自宅で具合が悪くなり、自ら救急車を要請したとき、または災害時に近所住民や救急隊員が迅速に救命活動を行えるよう、持病やかかりつけの病院等について記したカードを用意することにより、本人の状態に適した医療機関への搬送など、適切な救急活動をスムーズに行うためのものです。

独居の高齢者だけではなく、若い人や家族で住んでいる人でも、誰もが救急車を要請しなければならない可能性があります。その時の症状を救急隊員や救助者に伝えるのは大変困難です。地域全体で取り組むことで、一人一人が自宅で安心して暮らすことができる一助になればと考えています。

緊急医療情報カプセルの内容は？

★ 緊急カプセルには何を使うの？

ひと目で確認できるよう、中身が見える透明な容器が適しています。例えば、使用済みのペットボトルで十分です。

★ 緊急医療情報カードには何を書けばいいの？

情報カードには、緊急時にその方の対応方法が分かるように、自分の名前・生年月日、主治医や薬の内服状況、持病といった医療情報を記入しておきます。このほかにお薬手帳、健康保険証や診察券のコピー等を一緒にカプセルに入れておくと、救急活動時に役立ちます。

～準備の手順～

① 緊急カプセルの作成

きれいにしたペットボトル（500ml程度）を用意します。

ペットボトルは横の部分に切れ込みを入れ、その上からラベルを張りましょう。

※開けるときは切り込み部分に親指を入れるようにすると割ることができます。

② 緊急医療情報シートの作成

緊急医療情報カードに記入をします。ご自身で難しい方はご友人やケアマネジャー、ヘルパーさん等をお願いして書いてもらいましょう。

記入したら、折りたたんでカプセルに入れましょう。

③ 冷蔵庫の中に保管

冷蔵庫の内側(ドリンクホルダー)等、目立つところに保管しましょう。

④ 冷蔵庫の外側にラベルを貼る。

⑤ 玄関扉の内側（ドアノブ付近）にもラベルを張る。

緊急医療情報カプセルのラベル⇒



「緊急医療情報カプセル」

のご利用にあたっては、 以下の点をご了解ください。

◇救急隊（支援の消防隊含む）は、玄関ドアの内側または冷蔵庫に貼られているマークを容易に発見できた場合は、本人または同居人の等の同意を得ることなく、冷蔵庫を開けて緊急時を取り出すことがあります。

◇緊急医療情報カプセルは、救急隊が救急活動に必要と判断した場合に活用されます。そのため、緊急医療情報カプセルの保持者であることが分かっている場合でも、その救急活動の内容によっては活用されない場合があります。

◇傷病者本人または同居人等が会話可能な場合は、緊急医療情報カプセルの情報よりも本人等からの供述情報が優先されることがあるため、キットの有無にかかわらず救急隊から情報を尋ねられることがあります。

◇救急活動において搬送先の医療機関を決める場合、本人の傷病状態及び医療機関の受け入れ状況によっては、医療情報シートに記載された「かかりつけ医療機関」に搬送されない場合があります。

◇かかりつけ医療機関や緊急連絡先などに変更があった場合は、最新の情報に修正するように努めてください。

個人情報取り扱いについて

取得した個人情報につきましては必要な範囲でのみ利用し、当該目的以外では利用しません。

【お問い合わせ】

中原区内地域包括支援センター

いだ 電話:044-751-6661

こだなか 電話:044-798-2332

すみよし 電話:044-455-0980

とどろき 電話:044-281-3666

ひらまの里 電話:044-544-4012

みやうち 電話:044-740-2814

中原区役所地域みまもり支援センター高年齢・障害課

電話:044-744-3217 FAX:044-744-3345